

日本一になった日本スカウトジャンボリー

掛川2.団 齋木太壱

僕は、今年に開かれた第十七回日本スカウトジャンボリーに参加しました。

この第十七回日本スカウトジャンボリーは石川県の能登半島の先端にある珠洲市のリフレッシュ村というところで行われました。

そんな第十七回日本スカウトジャンボリーで僕が一番思い出として残っているのは、やっぱりジャンボリーゲーム日本一のキャンピングのベンチャースカウト班部門七人班の部で一位になった事です。

理由は、一位つまり日本一になることができたからです。

このゲームの内容は、鉋で薪を割り、それにマッチで火をつけて上にある「竹」を焼き切るゲームでした。

僕はまだ初級なので、鉋と火をあつかうことができないので、僕は近くで応援をするだけだったけど、少しでも僕の応援が伝わったのか、ベンチャースカウト部門七人班の部で一位になることができました。ジャンボリーの閉会式で班長がステージの上で表彰されました。僕たち班員は少しの間ステージの画面に映るだけでしたが、とても緊張しました。まさか一位になれるなんて思っていなかったのでもとても驚いたし、嬉しかったです。

僕は、ジャンボリーの七日間でとても成長したと思います。

初めて七日間も親元を離れて生活をしました。それにはたくさんの不安とさびしさがありました。

「家に帰りたい」と思った事もたくさんありました。しかし仲間と一緒にテントを立て、キャンプをしたのはいい思い出だったし、いい経験でした。

これからはこの経験を活かして生活して行きたいです。